



三ツ鳥居と豊鍬入姫宮（手前）——桜井市三輪で



檜原神社（桜井市）



檜原神社は山の辺の道沿いにある大神神社の摂

社です。ご祭神は天照大御神若御魂神、伊弉諾尊、伊弉冊尊です。緑の木々と赤い玉垣に守られた三ツ鳥居は、伊勢神宮から譲り受けた檜の古材で作られました。

で、通称三輪鳥居ともいわれます。宮に遷る前に鎮座した地の伝統は受け継がれ、境内には昭和期に入りこの地を訪れた伊勢神宮女性祭主の歌碑や参拝記念樹があり、歴代皇女の足跡は今も息づいています。

「日本書紀」には、第10代崇神天皇の時代、宮中で祭られていた天照大御神を皇女豊鍬入姫命に託し、初めて宮中外の「倭笠縫邑」に遷し祭らせたと伝わります。檜原神社はその伝承地であり、天照大御神が伊勢神に遷されたと伝わります。檜原神社は、1986(昭和61)年11月、社殿が創建され、斎王制度は南北朝時代には、二上山、奈良盆地を望む絶景の檜原台地が広がっています。

（住所）桜井市三輪檜原
（祭神）天照大御神若御魂神・伊弉諾尊・伊弉冊尊
（交通）JR三輪駅から徒歩約30分
（拝観）境内自由
（駐車場）有
（電話）0744・45・2173

「元伊勢」歴代皇女の軌跡

（奈良まほろばソムリエの会員 梅田加都）